

一人1台端末の効果的な活用に向けた取組

越前市王子保小学校

1 取り組みの概要

本年度は、児童が授業で一人1台端末を効果的に使い、「進んで考え、対話的な学びの中で、自分の考えを深める子の育成～自ら率先して自分の思いや考えを表現し合い、互いの良さを認め合う子をめざして～」を研究主題に、タブレットの効果的な活用に取り組んだ。

①一人1台端末活用を通して子どもにつけたい力を明確化

・表現力

絵が苦手な児童、字を書くのが苦手な児童もタブレットの写真や文字入力機能を使って、レイアウトを考えながら表現する。また発表が苦手な子も、タブレット内の資料を使うことにより、自分の言葉で楽しんで発表する。

・情報収集力

ICT機器を使って必要な情報を入手する。悪質な情報を流出したり、信じたりしない。

・コミュニケーション力

自分の意見を友達に伝えたり、一緒に考えたりする。相手の気持ちを考え、互いの良さや違いを認め合いながら書き込みをする。友達の多様な考え方をヒントに自分の考えを修正したり、深めたりする。

②低・高学年の目標を設定

低学年

基本的な学習のルールを身に付け、自分の思いや考えを伝え、他の人との考えを比べながら、気づきを深める。

- ・話し方名人、聞き方名人の「あ・い・う・え・お」を常に意識させ定着させる。
- ・相手の話を聞いて、反応したり、友達の考えを取り入れて、話したりする。
- ・体験したことや考えたことを文章に書いたり発表したりする。
- ・ペアで考えを伝え合う。
- ・タブレットの基本操作に慣れる。

高学年

目的意識をもって「聞く」「考える」「話す」ことで、自分の考えを広げ、深める。

- ・話し合い活動を取り入れる場面を精選する。
- ・モデルの中から良い表現の仕方を学び、自分の表現に活用する。
- ・振り返りの時間を設けることで、自分の考えの広がりや深まりを確認する。
- ・iPadを活用し、自分の考えと他の人の考えを比べ、気づきを深める。

③ 授業実践の公開

- ・ 低・高学年部会で、一人1回以上授業を公開する。
- ・ 教科は自由とし、タブレットを効果的に活用する。
- ・ 指導案等の作成はしない。授業を行うときには、日時、単元名、授業の観点等を記載した「校内授業計画」を Teams 上にアップし、参観者はアドバイスや感想等を記入する。
- ・ 授業実践後、毎月最終週に部会をもち、成果と課題を記録に残し、次の授業の改善に繋げる。
- ・ 実践内容、研究して作成した教材、ワークシートなどは、共有財産として残していく。(タブレット活用シートを実践後作成し、フォルダ内に格納する。)

校内公開授業計画	
低・高学年部会	授業者
月 日 ()	校時 場所
教科	単元名
本時の目標	
授業の観点	
参観しての感想、アドバイス等	

タイトル		縦文のむらぐらしの様子について考えよう	
校種・学年	小学校 6年	使用アプリ等	Metamoji
単元	縦文のむらぐらしのくにへ 大豊のむらぐらし		
活用の概要 ① 縦文のむらぐらしの様子をMetamojiに貼りつけた図や教科書、資料集から項目別に気がつくことをMetamojiに書きこむ。 項目は、食べ物、建物、道具、衣服 ② ある程度時間を取ってMetamoji上に書きこめたら、生徒同士で見られる設定にし、みんなの意見を見てワークシートにまとめさせる。 ③ ワークシートに各自まとめたら発表させる。発表した内容からどのような感想を持っていたか想像させる。重要なことは教師側でまとめる。			
タブレット活用の効果 Metamojiに書きこませることで、気づきが少ない児童も気にせず書きこむことができる。また、書きこませた意見を児童同士で見ると、ワークシートにまとめることで、自分の気づかなかったことを理解することができた。また、項目別に書きこませることで、気づいた内容を整理することができた。			

タイトル		花だんの面積を求めよう	
校種・学年	小学校 5年	使用アプリ等	MetaMoji
単元	算数「小数のかけ算」		
活用の概要 ① 長方形や正方形の面積を求める式を振り返る。 ② 面積を求める式をみて、どのように考えたかを記入する。 児童には、問題が書かれたノートをMetamojiに配布 わからない児童は友達の手紙をみてヒントをもらう ③ 考えを発表する。 ④ 実際に計算して、答えが同じになるか確認する。 ⑤ 分配法則以外の計算のきまりを確認する。 時間がかかるので計算のきまりは写真を撮ってよいことにする。			
タブレット活用の効果 ① ヒントを得る 友達の考えを見ることが、困っている児童の手掛かりとなる。 ② 比較することができる。 比較する機能を使って、自分の考えと友達の考えを簡単に比較することができるので、足りない言葉などがわかりやすい。			

タイトル		はたらく人とわたしたちの暮らし 農家のしごと	
校種・学年	小学校 3年	使用アプリ等	Metamoji Safari
単元	社会「農家のしごと」		
活用の概要 【授業の流れ】 ① 農家の仕事内容を短い文で箇条書きする。 ② 米や野菜を生産していることは出てくるが、畜産、酪農は出てこないことが多いので空いているスペースに補足して記入する。 ③ 越前市で生産されている農作物のランキングを予想する。 ＊ゆめりやをらずして1文字目を見せたりすること ＊多く予想できない児童も参加しやすくする。 ④ その他に越前市で生産される特産品について右下のJA越前たけふのホームページをリンクから確認する。ex 白山ずいか			
タブレット活用の効果 I 何度も書いて消したりすることが容易であるため、考える→書くという活動を繰り返すことができる。 II 時間の経過に合わせて他の児童のシートを閲覧できるように設定することで他の児童の意見を参考に自分の意見が考えられる。 III 見る画像を限定することができる。グラフの縦軸、横軸が何を表しているかを指導することが容易。 IV リンクを添付することで検索する手順を省き全員が同じウェブサイトを閲覧することができる。			

2 成果と課題

- ・ ICTを利用することで、学習内容に関心をもち、主体的に学習に取り組もうとする児童が増えたが、予定より授業時間を多く費やしてしまうこともあったため、今後はどのような学習場面で、どのように活用するのか、授業のねらいに応じたタブレットの活用方法を意識して教材研究し、実践していく。また、各部会で実践内容やその成果と課題を共有し、記録していくことで全教員のスキルアップに繋げる。
- ・ 教師にも得手不得手があり、先進的な教師に合わせることは難しいが、教師間の格差が少しでも減っていくように、我々教師がつながり合い、学び合いながら研修を積み、無理なくスキルアップしていかなければならない。

以上のことをふまえて、今後も一人1台端末を効果的に活用した授業の研究に取り組んでいきたい。